

# 市川市 市政ガイドブック



## シンボルマーク



### [ビジュアルコンセプト]

市川の「市」「い」、そして「1」「川」をシンボライズしたマークです。

3本の線は、市川市の基本構想の3つの基本理念である「人間尊重」「自然との共生」「協働による創造」を表現し、未来への発展、豊かさ、安心で快適な街の創造をカタチに込めています。

また「江戸川」と「清らかさ」、「若さ」と「未来」をカラーで表現しています。

## キャッチフレーズ

# いつも新しい流れがある 市川

市民が選ぶ景観100選の1位である江戸川と、未来志向、持続可能な都市をイメージしたものを、公募作品の中から、市民投票を実施し決定しました。

## 目次

### 写真特集：市川市の魅力を紹介します

- 4 | ・美しい景観[自然]
- 6 | ・美しい景観[まち並み]
- 8 | ・美しい景観[歴史・文化、活動のある風景]

### 市政情報：第二次基本計画の目標に沿って市政を紹介します

- 10 | ・安心なまちづくり
- 12 | ・快適なまちづくり
- 14 | ・活力のあるまちづくり
- 16 | ・市川の教育

### 市川市の基礎情報：市川市の地勢・歴史を紹介します

- 18 | ・地勢
- 19 | ・名誉市民
- 20 | ・歴史
- 23 | ポケット付録(行政組織・予算・統計情報など)



本市は、江戸川を挟んで東京都と隣接し、鉄道や道路など、都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網が集中しており、利便性の高い住宅都市です。

一方、都市部にありながら、緑地と水辺が同居する豊かな自然環境に恵まれ、寺社や古くからの街道など、歴史的・文化的な資源を多く有しており、これまで数多くの文人墨客が往来し、文学作品に描かれるなど、文化の薫り高い都市としても発展してきました。

2015年には、過去最高となる人口を記録しましたが、今後、全国的に少子高齢化が進み生産年齢人口の減少が見込まれる中、税収減や社会保障関連経費の増加が懸念されているところです。本市では、「安心して快適な活力のあるまち」を目標に、市川の強みを生かした独自性のある取り組みを進めています。

この市政ガイドブックは、「美しい景観」や「市川の魅力」を写真で紹介するとともに、第二次基本計画の目標である「安心」・「快適」・「活力」に「教育」を含めた4つの視点から分かりやすく市政を紹介するものです。また最終ページのポケットには、行政組織や予算などを収録しています。

この冊子を手にとっていただいた皆様に、本市の魅力を感じ取っていただければ幸いです。

市川市長 大久保 博

美しい景観

## 自然

江戸川を挟んで東京都と隣接する市川市は、都市化が進んでいると思われがちですが、海や川の水辺、季節により表情を変える樹木など豊かな自然環境にも恵まれています。

弘法寺の伏姫桜  
ふせひめさくら

紅葉の大町公園



江戸川と国府台斜面緑地



長田谷津のせせらぎ



三番瀬の日の出



じゅん菜池緑地のカワセミ

美しい景観

# まち並み

南部にある寺町や旧街道の古いまち並み、中央部の駅前にそびえる高層ビルがつくる新しいまち並み、北部に残る梨畑などの農地や緑豊かな公園が共存するまち並みは、市川市ならではの景観です。



街路樹の緑が栄える歩道



近代的なJR市川駅前



中山のまち並み



たわわに実がなる梨畑



歴史を感じる行徳の家屋



バラが咲きほこる里見公園

美しい景観

特集

# 歴史・文化 活動のある風景

市川市には、日蓮宗の大本山である法華経寺を始め、伝統ある神社が数多く残されています。また、北原白秋、幸田露伴、永井荷風が暮らした文化を感じられる景観の他、古くから受け継がれてきた伝統的な祭りや、市民がつくる新しいイベントも「まち」の魅力のひとつです。



春の国分川こいのぼりフェスティバル



五ヶ町大祭での神輿の放り投げ



雪の法華経寺



夏の夜を彩る市川市民納涼花火大会



旧江戸川沿いに建つ常夜灯



古くから伝わる  
国府台の辻切り



# 安心な まちづくり

市民が穏やかな環境の中で健やかに安心して暮らせるよう、防犯・防災のまちづくりや都市基盤の整備に加え、福祉や子育て支援など、生活に密着した施策に取り組んでいます。

これらは、「防犯・防災力の強化による更なる安心」、「良好な住環境の維持」、「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるまち」、「結婚から子育てまでの切れ目ない支援」などの推進により達成するものです。

ここでは、「安心なまちづくり」における具体的な取り組みを紹介します。

1. 総合防災訓練
2. いきいき健康教室
3. こども館チャレンジcook
4. 街頭防犯カメラ
5. 文化財防火デー消防総合訓練
6. 消防艇ちどり
7. 青色防犯パトロールカー
8. 自治会による防犯パトロール
9. いきいきセンターまつり 作品展
10. CMSいちかわキッズ子育て支援センター



5



7



8



## 主な事業

### 地域防災力強化事業

災害発生時における地域住民の自助・共助の意識向上を図るため、自主防災組織へ防災資機材等の購入・修繕費用の一部を補助する他、自治会等で実施する訓練への支援をしています。また、総合防災訓練を実施し地域防災力の強化を進めています。

### 耐震診断・改修助成事業

昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅や分譲マンションの耐震化を促進するため、耐震診断や耐震改修に要する費用の一部を補助しています。

### あんしん住宅推進事業

既存住宅の良質化を図るため、市民が所有・居住する戸建てや分譲マンションの改修工事費用の一部を助成しています。

### 認知症総合支援事業

認知症予防に関する普及啓発、家族への支援などに加え、医療・介護の専門職による認知症初期集中支援チームを設置し、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らせる社会を目指しています。

### 保育園整備計画事業

民間事業者が実施する施設整備事業に対して、その経費の一部を補助し、保育園などの民間児童福祉施設の充実を図っています。

### 生活困窮者支援事業

生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るため、「第2のセーフティネット」として生活困窮者の自立と尊厳を確保すると共に、「相互に支えあう」地域を構築するために相談や支援を実施しています。





# 快適なまちづくり



市民が潤いとやさしさのあるまちで快適に暮らせるよう、美しい景観のまちづくりや良好な都市環境の形成に加え、地球温暖化対策の推進やスポーツ環境の充実などに取り組んでいます。

これらは、「各地域の個性を生かした品格のある市川らしいまち並み」、「将来にわたる公共施設の安心かつ快適な利用」、「都市の低炭素化」、「スポーツを通じた健康で豊かな生活の実現」などの推進により達成するものです。

ここでは、「快適なまちづくり」における具体的な取り組みを紹介します。

1. 夢の教室
2. まちなかガーデニングフェスタ
3. ごみ収集
4. 若宮二丁目景観協定
5. クロマツのあるまち並み
6. ガーデニングボランティア
7. 江戸川クリーン作戦
8. 市民元旦マラソン大会
9. JR市川駅南口のイルミネーション



## 主な事業

### 都市景観形成事業

住み心地のよい快適で潤いのあるまちを目指し、市民、事業者と行政の協働による景観まちづくりを進め、魅力ある都市景観を形成しています。

### ガーデニング・シティ いちかわ事業

「住んでみたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちを目指し、ガーデニング・シティ・いちかわサポーター制度の拡大・運営、市民・事業者・各種団体との協働による各種イベントや花づくりを実施しています。

### 公共施設マネジメント推進事業

市民が将来にわたり公共施設を安心かつ快適に利用できるよう、「公共施設等総合管理計画」に基づき、市民のニーズに応じた施設保有量の適正化や施設の総合的な管理を進めています。

### ごみ発生抑制等啓発事業

ごみに対する理解と実践を促し、「資源循環型都市いちかわ」の構築とごみの減量や資源化を目的として、ごみ分別ガイドブックや小学生用の副読本などを配布して市民に情報を提供するとともに、イベントでの啓発活動や各地域での説明会を実施しています。

### 夢の教室関連事業

2020年東京オリンピック・パラリンピックを、子どもたちの明るい未来につなげるため、トップアスリートなどを小・中学校・特別支援学校へ派遣します。実技や講義を通して子どもたちに「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」を学ぶ機会を提供します。





# 活力のあるまちづくり



市民が活力あふれるまちで暮らせるよう、適切な土地利用の誘導、女性の活躍推進と就労機会の充実に加え、地域資源の活用や市民活動の支援、本市の魅力発信などに取り組んでいます。

これらは、「優良な宅地開発の誘導」、「女性や若者が活躍するための支援」、「産業の活性化」、「豊かな文化や自然の再発見」などの推進により達成するものです。

ここでは、「活力のあるまちづくり」における具体的な取り組みを紹介します。

1. 女性起業塾
2. 海苔すき体験
3. 水に親しむ親子のつどい
4. 行徳寺のまち回遊展
5. 地域ブランド市川の「なし」
6. 梨の袋かけ作業
7. ビジネスマッチング in N-PLUS
8. 東山魁夷記念館
9. いちかわバラ物語販売会



## 主な事業

### 道の駅整備事業

地域の活性化や防災力の向上のため、平成29年度開通予定の東京外かく環状道路に地域連携や防災機能を備えた道の駅を整備しています。

### 女性起業家支援事業

女性の起業家や起業予定者にセミナー・ビジネスコンテストなどを開催する他、起業時の資金を支援して、経営の安定化と女性が起業しやすい環境を整備しています。

### 企業・産業間連携支援事業

企業・産業間連携の促進と地域経済の活性化を図るため、全国規模の大規模展示会に市と市内企業が共同出展し、他の企業との技術連携や販路拡大の機会を創出しています。

### アイ・リンクタウン 展望施設運営事業

JR市川駅南口にある展望施設(地上45階)から見える眺望を新たな観光資源として市内外に広くPRし、観光客の誘致を図っています。併設する「アイ・リンク情報コーナー」では、喫茶サービスの提供や本市の特産物の紹介をしています。

### 都市農業振興支援事業

活力に満ちた魅力ある都市農業の振興を図るため、農業者への各種支援や、農産物の普及イベントを開催しています。





# 市川の教育



教育改革など近年の急速な教育環境の変化に対応するため、地域教育力の学校教育への活用などを土台に、不易と流行の視点を大切にしながら、本市の実態に即した教育の振興に取り組んでいます。

これらは、「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念に、「子どもの育成」、「家庭・学校・地域の教育力の向上と連携」、「教育の質を高める教育環境の整備」の推進により達成するものです。

ここでは「市川の教育」における具体的な取り組みを紹介します。

1. 塩浜学園(義務教育学校)での小学生と中学生の交流 2. 小学校の授業風景 3. ヘルシースクール推進事業 4. 耐震補強工事された校舎 5. 中央図書館 6. 学校給食の時間 7. タグ・ラグビー教室 8. 教室風景 9. 図工の授業



# 主な事業

## 校内塾・まなびくらぶ事業

児童・生徒の基礎的な学力の定着を図るため、退職教員や大学生など、地域のさまざまな人材を活用し、算数・数学を中心とした補習を放課後及び長期休業中などに設けています。

## 学校支援実践講座事業

市民を対象に、学校における「いじめ問題」をテーマとした人権講座を開催しています。受講者は、学校を支える地域支援者として市内の小・中学校で実施する児童・生徒との交流会に参加し、いじめ問題について意見交換を行います。

## ヘルシースクール推進事業

包括的な健康教育を推進するため、「体力づくり」、「望ましい生活リズムの確立」、「食に関する指導の充実」、「環境衛生の充実」を取組の柱として掲げ、小児生活習慣病予防(すこやか)検診・口腔検診・味覚検査・新体カテスト・ライフスタイル調査を実施し、生活リズム・食事・運動面から健康相談や個別指導などを行っています。

## 塩浜小中一貫校整備事業

平成27年4月に互いに隣接する塩浜小学校と塩浜中学校で一貫教育を始め、平成28年4月からは学校教育法上の義務教育学校とし、名称を「塩浜学園」としました。小中一貫教育の成果を確かなものとするため、校舎の一体化に向けた基本構想の策定を行います。

## スクール・サポート・スタッフ事業

多様化する教育活動の充実を図るため、小・中・義務教育学校及び特別支援学校の要望に応じて、児童・生徒の安全確保や効果的な学習指導を支援するスクール・サポート・スタッフを配置しています。

## ライフカウンセラー設置事業

児童・生徒の精神的な悩みを解消し心に「ゆとり」と「くつろぎ」を与えるため、小学校にゆとり相談員、中学校に心理療法士、義務教育学校にはその両方をライフカウンセラーとして配置しています。



# 地勢

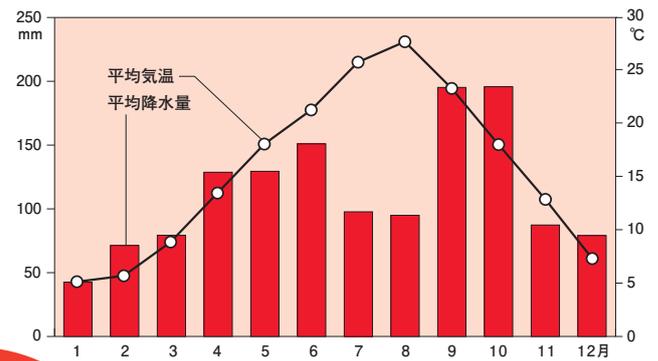
## 都心から20km。千葉県の北西部。

千葉県の北西部に位置し、西は江戸川を挟んで東京都に相対し、南は東京湾に面しています。また、都心から20キロメートルの圏内に位置しています。



過去10年間（平成18年～27年）の平均気温は15.8度で、月別の最低平均気温は1月の5.0度、最高平均気温は8月の27.6度となっており、おおむね温かな気候です。年間降水量の平均は約1,347ミリメートルです。

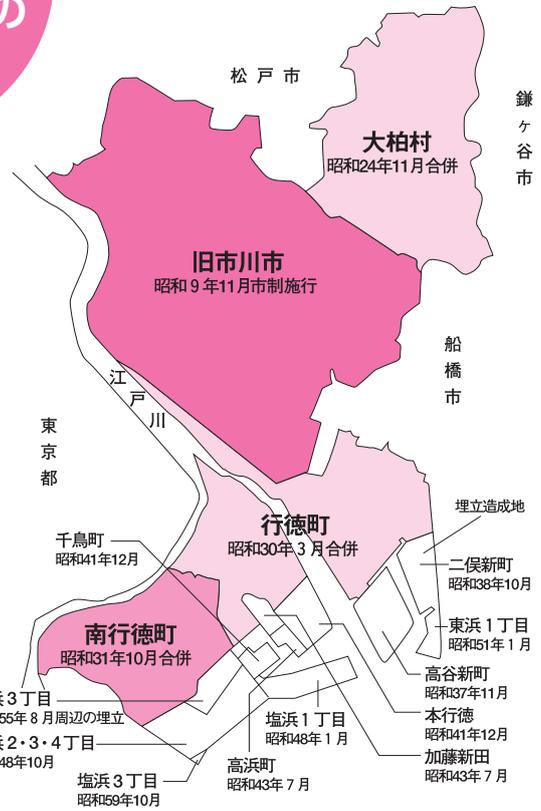
### ●過去10年間の平均気温、降水量



### 位置気象 地勢市域の変遷



地形は、北部から南部に向かって、やや傾斜しています。北部は標高20メートル程度の台地、南部は標高2メートル程度の低地帯を形成しています。



町村合併、公有水面埋立などにより市域面積は56.39平方キロメートルになっています。



# 名誉市民



## 昭和63年決定

【1908～1999】明治41年生まれ。日本画家。国際的にも知られ、新宮殿壁画や唐招提寺障壁画をはじめとする数多くの名作を制作し、市川市はもとより日本の芸術文化の向上に貢献された。昭和44年文化勲章受章。

東山 魁夷氏



## 平成6年決定

【1883～1968】明治16年生まれ。平田学園創設者。仏教による女子教育を志し、国府台高等女学院を創設。37年間の長きにわたり校長の職を務め、「敬虔、勤労、高雅」を校訓とした教育を実践し、私学教育の振興に尽力された。

平田 華藏氏



## 平成16年決定

【1879～1959】明治12年生まれ。小説家。小説、随筆、戯曲と幅広い創作を行い、近代日本文学史上、耽美派文学のひとつの時代を築き、文化向上に多大な功績を残した。戦後に八幡に居を構えて、市内の風景や風物を「葛飾土産」に著した。昭和27年文化勲章受章。

永井 荷風氏



## 昭和63年決定

【1887～1965】明治20年生まれ。初代市川市長。昭和9年の市制施行と同時に市長に就任後、通算8期22年の長きにわたり、市の発展に貢献され、現在の市川市の基礎を築いた。また、全国市長会副会長等の多くの役職を歴任され、地方自治の振興にも貢献された。

浮谷 竹次郎氏



## 平成6年決定

【1891～1983】明治24年生まれ。市川学園創設者。昭和12年市川中学校を創設、私学教育の先駆者として尽力された。また、江戸川を守る会会長、市川善行会会長として地域の環境保全と文化向上にも貢献された。

古賀 米吉氏



## 平成16年決定

【1910～2003】明治43年生まれ。脚本家。「ひめゆりの塔」「浮雲」など、戦後日本の映画史上に残る、名作の脚本を数多く手がけられるとともに、テレビドラマのシナリオ制作でも活躍され、女流脚本家の草分けとして文化向上に貢献された。

水木 洋子氏



## 平成元年決定

【1901～1988】明治34年生まれ。工芸家。古典的な木画の技法と金属（特に金）を活用した木象嵌で独創的世界を生み出した。また、書画も書き「最後の文人墨客」ともいわれた。また、市川市文化財審議会の初代委員長として本市の文化行政に多大な貢献をされた。昭和62年人間国宝。

秋山 逸生氏



## 平成11年決定

【1920～】大正9年生まれ。第17～21代市川市長。昭和15年に市川市役所に奉職して以来市職員・助役として38年、市長として5期20年、通算58年もの長きにわたり市政発展のため全精力を注ぎ、数々の施策を実現し、多大な貢献をされた。

高橋 國雄氏



## 平成16年決定

【1915～1993】大正2年生まれ。元味噌醸造所代表。戦後の混乱期に、父勝五郎氏（二代目）とともに、私財をなげうって、若手芸術家の育成や、芸術界の興隆に力を尽くされた。また、BC級戦犯処刑者の支援にあたり、世界平和を祈願する「愛の像」（アガベの像）の建立に奔走された。

中村 勝五郎氏



## 平成元年決定

【1896～1979】明治29年生まれ。元学習院長。文学研究者。特に江戸文学の権威として活躍されたほか、書画も書き「最後の文人墨客」ともいわれた。また、市川市文化財審議会の初代委員長として本市の文化行政に多大な貢献をされた。昭和45年文化功労者。

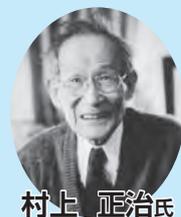
麻生 磯次氏



## 平成11年決定

【1898～1965】明治31年生まれ。医学博士。式場病院を創設し精神科医として活躍する一方、国立美術館の建設促進運動を行うなど、文化・芸術の分野でも幅広く活躍され、各界に多大な貢献をされた。

式場 隆三郎氏



## 平成16年決定

【1914～2003】大正3年生まれ。音楽家。音楽教育の必要性を認識され、青少年への音楽教育の推進をされ、クラシック音楽の普及に力を注がれた。また、市川市芸術文化団体協議会の結成に参画されるなど、市川市の芸術文化全般の振興に貢献された。

村上 正治氏



## 平成6年決定

【1906～2009】明治39年生まれ。彫刻家。昭和初期より制作活動に入り、数多くの作品を発表する一方で、日展役員などを歴任し、彫刻界の発展向上に尽力されるとともに、市役所や市民会館前に市民に親しまれる野外彫刻を制作された。

大須賀 力氏



## 平成11年決定

【1921～2004】大正10年生まれ。ガラス工芸家。「フジタガラス」として国際的にも高い評価を受けている。その作風は、日本美の伝統をもっとも良く生かす一方で、時代性・国際性に特徴がある。平成14年文化勲章受章。

藤田 喬平氏



## 平成16年決定

【1919～2003】大正8年生まれ。相撲・演芸評論家。力士、雑誌記者、新聞記者を経て、放送作家となられ、相撲と寄席・演芸などの伝統文化、庶民芸能の振興と普及に尽力された。特に市川市では、寄席を主宰し、市川市出身・ゆかりの芸人たちの育成にも力を注がれた。

小島 貞二氏



## 平成6年決定

【1914～1999】大正3年生まれ。漆芸家。蒔絵や螺鈿等の伝統的技法を駆使し、鋭い現代感覚で漆芸に新境地を切り開かれた。市川市文化会館の緞帳を制作され、本市の芸術文化活動にも多大な貢献をされた。平成7年文化勲章受章。

佐治 賢使氏



## 平成16年決定

【1919～2006】大正8年生まれ。詩人。現代の日本詩壇を代表するひとりであり、さらには、美術評論、フランス文学の翻訳にも精力的に活動された。市川市において、市川縄文塾、夜の虹賞を創設、主宰するなど、市川市の文化創造にも力を注がれた。

宗 左近氏



## 平成16年決定

【1952～1996】昭和27年生まれ。写真家。アラスカの雄大な自然と、そこに生きる動物や植物、人々を、写真や文章を通じて表現された世界的な写真家であり、その文章と写真は、全国の人々に感動を与え、その功績は市川市民の誇りとなっている。

星野 道夫氏



## 平成6年決定

【1881～1964】明治14年生まれ。昭和学院創設者。「明敏謙讓」を教育理想に掲げ、幼稚園から短期大学まで一貫教育の学園を築き上げるとともに、千葉県私学団体連合会副会長等を歴任し、私学教育の振興に尽力された。

伊藤 友作氏



## 平成16年決定

【1922～2012】大正11年生まれ。財団法人市川市文化振興財団前理事長。地元信用金庫理事長並びに会長として、市川市の経済発展に寄与された。また、市川の歴史・文化継承運動のリーダーとして多大な貢献をされ、地域社会の発展にも多くの功績を残された。

配島 征次氏



## 平成26年決定

【1935～】洋画家。日本の洋画壇を牽引するひとりとして活躍。白日会会長、日展理事長などを務めるとともに、後進の育成のために「アカデミー中山」を開設するなど、美術界の発展に尽力されている。さらに、美術はもとより芸術文化に対する豊富な知識と経験を活かし、市川市文化振興財団理事などを務め、本市の芸術文化の向上に多大な貢献をされている。

中山 忠彦氏

# 歴史

## 昭和

- 9 (1934) 11月 ◆ 市川町・八幡町・中山町・国分村が合併し、市川市制施行（県内3番目：人口約41,000人）
- 12月 ◆ 第1回市議会招集
- 10 (1935) 3月 ◆ 市役所庁舎完成
- 9月 ◆ 国鉄本八幡駅開業
- 11 (1936) 7月 ◆ 常備消防を設置
- 12 (1937) 3月 ◆ 市の紋章告示
- 16 (1941) 7月 ◆ 台風により真間川氾濫、1,200戸が浸水
- 18 (1943) 4月 ◆ 市立中学校を開校
- 19 (1944) 10月 ◆ 市川保健所開設
- 20 (1945) 2月 ◆ 市川市最大の空襲（新田・中山・菅野・国分・八幡・鬼高で被害）
- 12月 ◆ 旧国府台陸軍病院が国立国府台病院となる
- 21 (1946) 4月 ◆ 市立高等女学校を開校
- 22 (1947) 5月 ◆ 一中・二中・三中・四中・大柏中・行徳中・南行徳中がそれぞれ新制中学として開校
- 23 (1948) 4月 ◆ 市川市農協設立
- 10月 ◆ 市川・真間・中山・八幡・国分・南行徳の各小学校で学校給食開始
- 12月 ◆ 消防本部設置  
市立保育所開設
- 24 (1949) 6月 ◆ 市川電報電話局開設（市川郵便局から分離）
- 11月 ◆ 大柏村を合併し、大柏出張所を開設
- 25 (1950) 4月 ◆ 国府台運動公園開設
- 9月 ◆ 市立図書館開館
- 26 (1951) 12月 ◆ 市広報（現「広報いちかわ」）創刊
- 27 (1952) 3月 ◆ 市立公民館、葛飾八幡宮境内に開館
- 11月 ◆ 教育委員会を設置
- 28 (1953) 3月 ◆ 真間川が一級河川に指定
- 29 (1954) 7月 ◆ 警察制度改革により千葉県警市川警察署が新発足
- 30 (1955) 3月 ◆ 行徳町を合併し、行徳支所を開設
- 31 (1956) 6月 ◆ 行徳橋と可動堰（東洋一のローリングダム式）完成
- 10月 ◆ 南行徳町を合併し、南行徳支所を開設
- 32 (1957) 4月 ◆ 市立養護学校開設
- 5月 ◆ 市立図書館、葛飾八幡宮境内に移転開館
- 33 (1958) 9月 ◆ 里見公園、国府台3丁目に開設

- 34 (1959) 6月 ◆ 狩野川台風により真間川氾濫、床上、床下浸水5,000戸（県下初の災害救助法適用）
- 養護老人ホーム「いこい荘」開設
- 市庁舎（鉄筋5階）完成
- 11月 ◆ 市民会館開館
- 12月 ◆ 第一次公有水面埋立事業第二工区建設着手
- 35 (1960) 4月 ◆ 京葉道路開通
- 12月 ◆ 第一次埋立第一工区建設着手
- 36 (1961) 11月 ◆ 公共下水道事業着手
- 37 (1962) 10月 ◆ 市営霊園開設
- 11月 ◆ アメリカ合衆国のゲーデナ市と姉妹都市締結
- 38 (1963) 12月 ◆ 安全都市宣言
- 39 (1964) 6月 ◆ 市立図書館行徳分館開館
- 9月 ◆ 消防庁舎完成
- 40 (1965) 7月 ◆ 市川町・根本町・真間町・新田町の一部で住居表示実施
- 10月 ◆ 市史編さんに着手  
勤労青少年ホーム開館
- 12月 ◆ 総武線複々線化起工
- 41 (1966) 4月 ◆ 衛生処理場を二俣新町に開設
- 43 (1968) 4月 ◆ 休日当直医制度発足
- 5月 ◆ 市立図書館新館完成
- 10月 ◆ 市川市松戸有料道路開通
- 44 (1969) 3月 ◆ 東西線開通
- 5月 ◆ 勤労福祉会館完成
- 45 (1970) 7月 ◆ 東京外郭環状道路を都市計画決定
- 総武線小岩～西船橋間の高架線完成
- 区域区分（市街地区域・市街化調整区域）当初決定
- 8月 ◆ 新浜鴨場とその周辺湿地帯を含む83ヘクタールが行徳近郊緑地特別保全区に指定
- 12月 ◆ 市の木「クロマツ」指定
- 46 (1971) 7月 ◆ 市役所第二庁舎落成
- 47 (1972) 4月 ◆ 終末処理場操業開始
- 地方卸売市場開設
- 6月 ◆ 新行徳有料道路開通
- 11月 ◆ 考古博物館開館
- 48 (1973) 3月 ◆ 「市民手帳」発刊
- 4月 ◆ 大町自然公園開園
- 9月 ◆ 市民体育館開館



昭和10年頃 初代市会議員の市庁舎前での集合写真



昭和20年2月25日 空襲で被災した現在の市川新田5丁目と国道14号線



昭和29年2月 深夜の総武線市川駅北口

- 10月 若潮国体開催
- 49 (1974) 1月 ◆ 小塚山緑地開設
- 4月 ゴミ分別収集開始
- 松の実学園開園
- 点字広報を発行
- 8月 人口30万人突破
- 9月 西浜(旧)清掃工場稼働開始
- 50 (1975) 4月 ◆ 市川市史全8巻が完結
- 7月 市民の花に「バラ」を決定
- 51 (1976) 3月 ◆ 大町診療所開設
- 10月 市民の鳥に「ウグイス」、市民の虫に「スズムシ」を決定
- 11月 第1回市民まつり
- 12月 菅平高原いちかわ村開設
- 52 (1977) 4月 ◆ 国分福祉作業所開設
- 休日夜間急病診療所開設
- 5月 声の広報を発行
- 10月 健康増進センター開館
- 消費生活センター開館
- 11月 市民憲章制定
- 53 (1978) 1月 ◆ 国道357号(湾岸道路)開通
- 4月 南消防署開署
- 9月 行徳支所・行徳公民館開館
- 10月 武蔵野線開通
- 54 (1979) 2月 ◆ 信篤図書館開館
- 3月 基本構想制定
- 4月 休日急病歯科診療所を開設
- 6月 市役所第三庁舎落成
- 55 (1980) 1月 ◆ 野鳥観察舎新装開館
- 2月 斎場開設
- 56 (1981) 4月 ◆ 流域下水道供用開始
- 5月 総合福祉センター開館
- 7月 保健センター開館
- 9月 大柏出張所、区画整理地内に移転
- 10月 中国樂山市と友好都市締結
- 台風24号で真間川水系が氾濫、床上・床下浸水約7,500戸(災害救助法適用)
- 57 (1982) 4月 ◆ 明松園開園
- 5月 勤労福祉センター開館
- 南八幡福祉作業所開設
- 7月 市民プール開設
- 少年自然の家開設
- 11月 歴史博物館開館
- 58 (1983) 3月 ◆ 葛南警察署業務開始
- 10月 南行徳図書館開館
- 59 (1984) 1月 ◆ 住民票関係事務をオンライン化
- 11月 核兵器廃絶平和都市宣言
- 60 (1985) 5月 ◆ 信篤市民体育館開館

- 7月 消防局・東消防署合同庁舎完成、各消防署・分遣所をオンラインで結ぶ「消防・救急情報管制指令システム」導入
- 8月 市民納涼花火大会、31年ぶりに復活
- 10月 人口40万人突破
- 11月 文化会館開館
- 61 (1986) 3月 ◆ 21世紀を展望した新しい基本構想制定
- 5月 身体障害者福祉センター・行徳福祉作業所開所
- 9月 真間川水系、再び「河川激甚災害対策特別緊急事業」に指定
- 10月 (財)市川市緑の基金設立
- 62 (1987) 4月 ◆ 個人情報保護条例施行
- 8月 動植物園開園
- 10月 平田図書室開室
- 63 (1988) 12月 ◆ 京葉線延伸により「二俣新町駅」「市川塩浜駅」開業

### 平成

- 元 (1989) 3月 ◆ 都営地下鉄新宿線開通「本八幡駅」開業
- 6月 万葉植物園開園
- 9月 梨香園開園
- 10月 塩浜市民体育館開館
- 自然博物館開館
- 11月 インドネシアのメダン市と姉妹都市締結
- 2 (1990) 4月 ◆ 市民談話室開館
- 3 (1991) 3月 ◆ 北総線開通「大町駅」「松飛台駅」「北国分駅」開業
- 11月 女性センター開館
- 4 (1992) 4月 ◆ いちかわケーブルネットワーク開局
- 5 (1993) 3月 ◆ 高齢者福祉住宅完成
- 6月 自転車駐輪場、移送保管有料化
- 10月 観賞植物園開園
- 6 (1994) 4月 ◆ クリーンセンター稼働開始
- 11月 生涯学習センター(メディアパーク市川)開館
- クリーン・グリーン都市宣言
- 7 (1995) 1月 ◆ 阪神・淡路大震災で支援
- 3月 行徳警察署業務開始
- 6月 リサイクルプラザ開設
- 8 (1996) 2月 ◆ 北国分町が堀之内に住居表示変更
- 4月 (財)市川市福祉公社設立
- 9 (1997) 4月 ◆ 葛南病院が「浦安市川市民病院」に名称変更
- コンビニで住民票の取次ぎサービス開始
- 9月 市公式Webサイト開設
- 11月 南行徳市民センター開館
- 10 (1998) 9月 ◆ 保健医療福祉センター開館
- 市川エフエム開局
- 11 (1999) 4月 ◆ 妙典小学校開校
- 消防救急指令管制システム運用開始



昭和43年3月17日 京葉道路原木インターチェンジ付近の様子



昭和56年10月 市川市樂山市友好都市締結調印式



中国樂山市から寄贈されたレッサーパンダ  
左(メス)誠誠、右(オス)真真

- 10月 家庭ゴミの指定袋制・大型ゴミ収集の有料化
- 12 (2000) 1月 ◆ 東西線「妙典駅」開業
- 2月 クリーンセンターでISO14001の認証を取得
- 4月 新衛生処理場稼動開始  
江戸川サイクリングロード開通
- 13 (2001) 4月 ◆ 人口45万人突破  
携帯電話による行政情報発信開始
- 7月 メールマガジン配信開始
- 14 (2002) 3月 ◆ 市施設（18施設）でISO14001の認証を取得
- 5月 情報プラザがオープンし、電子市役所を開設
- 10月 ごみの12分別を開始
- 15 (2003) 8月 ◆ 全国初、受験資格から年齢・学歴の制限を撤廃した職員採用試験実施
- 9月 通称「市民マナー条例」制定（県内初、路上喫煙に過料）
- 10月 全国自治体で初、情報セキュリティマネジメントシステムの認証取得
- 12月 県内初、工業地域等への大型マンション建築の事前相談を義務づける条例制定
- 16 (2004) 4月 ◆ 大洲防災公園開設
- 7月 ドイツ連邦共和国のローゼンハイム市とパートナーシティ締結
- 9月 芳澤ガーデンギャラリー開館  
木内ギャラリー開館  
郭沫若記念館開館
- 10月 急病診療・ふれあいセンター開館
- 11月 行徳公会堂（行徳文化ホールI&I）開館  
市制施行70周年式典でWHO健康都市宣言
- 12月 納税者が選択する市民活動団体への支援条例制定（1%支援制度）
- 17 (2005) 4月 ◆ こども発達センター開館
- 10月 文学プラザ開設
- 11月 東山魁夷記念館開館  
e-モニター制度開始
- 18 (2006) 5月 ◆ 市民が選ぶ「いちかわ景観100選」決定
- 7月 青少年館が地域ふれあい館としてリニューアル
- 11月 地域ポイント制度開始
- 19 (2007) 4月 ◆ 男女共同参画社会基本条例制定
- 6月 大柏川第一調節池緑地開園
- 7月 AED（自動体外式除細動器）を公共施設131カ所に設置
- 9月 クリーンセンター余熱利用施設「クリーンスパ市川」開設
- 20 (2008) 10月 ◆ 第3回健康都市連合国際大会開催

- 還暦式開催
- 12月 市川駅行政サービスセンター開設
- 21 (2009) 4月 ◆ 浦安市川市民病院が民営化し、「東京ベイ・浦安市川医療センター」に名称変更
- 市川駅南口図書館開館
- 10月 アイ・リンクタウンいちかわ展望施設開設
- 11月 いちかわ観光・物産案内所開設  
市制施行75周年記念切手発売  
1%サミット開催
- 12月 常夜灯公園開設
- 22 (2010) 3月 ◆ I-linkタウンいちかわ街開き
- 4月 広尾防災公園開設
- 5月 市長目安箱設置
- 9月 ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会開催
- 23 (2011) 3月 ◆ 東日本大震災により市内液状化
- 6月 「ガーデニング・シティいちかわ」がスタート  
ツイッター配信開始
- 10月 「ガーデニングコンテスト」及び「まちなかガーデニングフェスタ（オープンガーデン）」を初開催
- 12月 北消防署オープン
- 24 (2012) 4月 ◆ 東京ベイ・浦安市川医療センターがオープン
- 6月 フェイスブック試験運用開始（平成25年2月本運用）
- 9月 九都県市防災訓練開催  
イッシー・レ・ムリノー市とパートナーシティを締結
- 25 (2013) 7月 ◆ 文学ミュージアムが生涯学習センターにオープン
- 11月 「ガーデニング・シティ いちかわ」のオリジナルキャラクターの名前が、公募により「クロロ」と「バララ」に決定
- 26 (2014) 5月 ◆ 市役所新庁舎建設のため、執務室が分散移転
- 10月 市川市のシンボルマーク・キャッチフレーズ決定
- 11月 市制施行80周年を迎え、記念式典開催
- 27 (2015) 4月 ◆ 市川市立初の小中一貫校「塩浜学園」開校
- 5月 新庁舎建設に伴い庁舎が移転し、市川南飯庁舎オープン
- 6月 プレミアム商品券発行
- 8月 人口が過去最高更新



平成21年10月アイ・リンクタウンいちかわ展望施設開設



平成25年7月文学ミュージアムオープン



平成26年11月市政施行80周年を記念して行われたプロジェクションマッピング



## 市の木：クロマツ

---

(昭和45年12月3日指定)



## 市民の花：バラ

---

(昭和50年7月21日指定)



## 市民の鳥：ウグイス

---

(昭和51年10月21日指定)



## 市民の昆虫：スズムシ

---

(昭和51年10月21日指定)

### 市川市 市政ガイドブック

発行：市川市 編集：企画部 広報広聴課  
〒272-8501 千葉県市川市八幡1-1-1  
TEL 047-334-1111(代表) FAX 047-336-2300  
<http://www.city.ichikawa.lg.jp>

(平成28年3月 発行)

